保証書

持込修理　無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合のみ無料修理いたします。
2. 保証期間内でも次の場合には有料修理となります。
   （イ）使用上の誤り、または、自己修理、分解、調整、改造などによる故障及び損傷
   （ロ）お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷
   （ハ）火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛りなどによる故障及び損傷
   （ニ）消耗または摩耗した部品、付属品の交換
   （ホ）本書のご提示がない場合
   （ヘ）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは文字を書きかえられた場合（但し、販売シールや領収証でも未記入項目の代用となります。）
   （ト）本品本来の用途以外に使用された場合の故障及び損傷
   （チ）一般家庭用以外（例：業務用、または業務用に準ずる使用方法）で使用された場合の故障及び損傷
3. ご贈答、ご転居などで本保証書に記入のお買い上げ販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
5. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

商品名	2.1ch TVサウンドコンソールバー			★お買い上げ日：　　年　　月　　日
型　番	ASP-BT1030N	品　番	03-2075	保証期間：本体1年間（お買い上げの日から）
お客様	★お名前　　様 ★ご住所　〒　　ー 電話　　（　　）			
修理メモ				
販売店	★住所　店名　電話 ㊞			

（注）★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
※この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
※保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
※お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。

OHM　株式会社 オーム電機
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
http://www.ohm-electric.co.jp

製品に関するお問い合わせは　お客様相談室 へ
●通話料無料　0120-963-006
●携帯・IP・公衆電話からは　048-992-2735
電話受付　平日 9：00～17：30　土曜 9：00～17：00
日曜・祝日及び年末年始は除きます

修理に関するご相談は　修理ご相談センターへ
電話受付　048-992-3970　平日 9：00～17：00
土・日・祝日及び年末年始は除きます

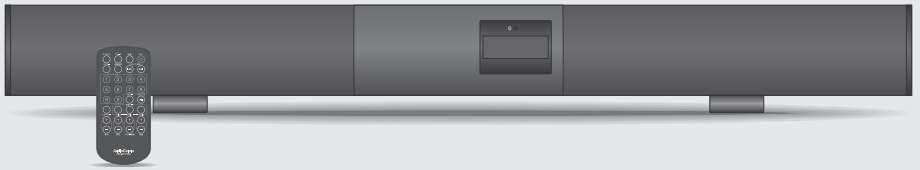
03-2075A

AudioComm®

取扱説明書 保証書付

2.1ch TVサウンドコンソールバー

型番：ASP-BT1030N　品番：03-2075



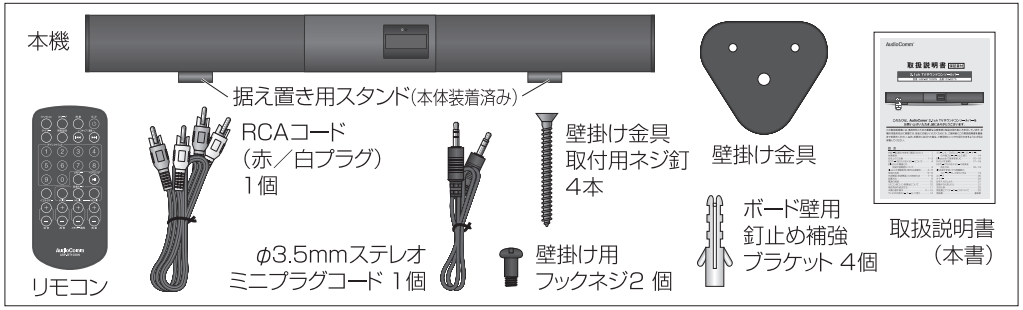
このたびは、AudioComm® 2.1ch TVサウンドコンソールバーをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。本機の性能を充分に発揮させ、安全にお使いいただくためにも、ご使用前にこの取扱説明書を最後までお読みください。なお、お読みになられた後は、ご使用時にいつでも見られますように大切に保管してください。

目　次

内容一覧（箱の中身をご確認ください）…… 1
免責事項…… 1
安全上のご注意 …… 1～3
SDカード及びUSBメモリーについて …… 4
Bluetooth機器との接続可能範囲について …… 4
Bluetooth機器使用に関する注意事項…… 4～5
各部の名称…… 5～6
外部機器（音源機器）との接続方法 …… 7～8
設置方法…… 9
電源の接続…… 10
リモコン用コイン型電池について …… 10
現在時刻の設定方法…… 11
本機の基本操作…… 11～13
テレビの外部スピーカーとして使う …… 14
ブルーレイ／DVDレコーダー（プレーヤー）の外部スピーカーとして使う …… 14
Bluetoothで音楽を楽しむ …… 15～16
FMラジオを聴く …… 17～18
SDカードやUSBメモリーの音楽を再生する…… 18～19
LINE端子を使って外部機器のスピーカーとして使うときは …… 19
スリープ …… 20
タイマー …… 20
お手入れのしかた …… 21
故障かなと思ったら …… 21
主な仕様…… 22
保証書とアフターサービスについて …… 22
保証書…… 裏表紙

内容一覧(箱の中身をご確認ください)



免責事項　下記の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。

- ●弊社の責任によらない製品の損傷や、破損、または改造による故障や不具合
- ●本製品によって生じたデータの消失または破損
- ●本製品のために費やした時間及び経費
- ●本製品を運用した結果もたらされた損害
- ●本製品によりもたらされた、直接的、間接的な効果及び利益の損失
- ●本製品をご使用になって生じたあらゆる結果及び、直接的、間接的なシステム、機器及びその他の異常

安全上のご注意

電気製品は間違った使い方をすると火災や感電による人身事故につながる可能性があります。このような事故を防ぐために、この取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を必ずお守りください。注意事項は、取り扱いを誤った場合に予想される事故の大きさによって3段階で表示しています。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためにいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。

⚠ 危険	この表示を無視して、誤った取扱をすると、火災、感電、破裂などにより死亡したり、大けがなどを負う可能性が想定される内容です。
⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取扱をすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりする可能性が想定される内容です。

絵表示の使用例

	△記号は、注意(危険、警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。 (左図の場合は感電注意が描かれています。)
	○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。 (左図の場合は分解禁止が描かれています。)
	●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。 (左図の場合は、電源プラグをコンセントから抜く、が描かれています。)

⚠ 警告

コンセントから抜く	**万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常を感知したら、すぐに本機の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜く** ●そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。 ●煙が出なくなるのを確認して販売店に修理を依頼してください。	禁止	**表示された電源電圧交流100ボルト以外の電圧で使用しない** ●火災・感電の原因となります。
コンセントから抜く	**万一、内部に異物が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜く** ●そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。 ●販売店にご連絡ください。	接触禁止	**雷が鳴り始めたら、安全のため本機及び電源コードに触れない**
分解禁止	**本機を分解、修理、改造しない** ●火災・感電の原因となります。	禁止	**本機や電源コードの上に重いものをのせたり、コードの上に本機をのせない** ●コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。
禁止	**海外では使用しない。自動車・船舶などの直流DC電源には接続しない** ●火災の原因となります。 ●この機器を使えるのは日本国内のみです。	禁止	**電源コードを敷物などで覆わない** ●気づかず重いものをのせてしまい、火災・感電の原因となります。
修理を依頼	**電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)、使用を中止する** ●そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。 ●修理をご依頼ください。	禁止	**電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない** ●コードが破損して火災・感電の原因となります。
		禁止	**浴室、台所など湿気の多い場所や水飛沫のある場所では使わない** ●感電や故障の原因となります。

⚠ 注意

禁止	**ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所に置かない** ●落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。	コンセントから抜く	**お手入れの際や移動させるときは電源プラグをコンセントから抜く** ●コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。
禁止	**電源コードを熱器具に近づけない** ●コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。	極性に注意	**リモコン用コイン型電池は極性表示(⊕⊖)に注意し、正しく入れる** ●電池の破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
禁止	**窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない** ●キャビネットや部品に悪い影響を与え、故障の原因となることがあります。	禁止	**指定以外の電池は使わない** ●電池の破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

次ページに続く

⚠注意

禁止	**ほこりの多い場所に置かない** ●火災・感電の原因となることがあります。	音量を抑える	**電源を切る前に音量を抑える** ●次に電源を入れたとき、突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。
濡れ手禁止	**濡れた手で電源プラグを抜き差ししない** ●感電の原因となることがあります。	掃除をする	**電源プラグとコンセントの接続部を定期的に掃除する** ●電源プラグとコンセントの間にほこりがたまると自然発火(トラッキング現象)を起こすことが知られています。年に数回、定期的にプラグのほこりを取り除いてください。梅雨期前が効果的です。 ●使用環境にもよりますが、2年に1回程度、機器内部の掃除をお勧めします。最寄りの販売店にご相談ください。
禁止	**電源プラグを抜くときは、コードを引っ張らない** ●コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。 ●必ずプラグ部を持って抜いてください。		
コンセントから抜く	**旅行などで長時間本機を使わないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く** ●火災・液もれの原因となることがあります。		

電池を安全にお使いいただくために(リモコン用コイン型電池)

液もれ、発熱、破裂などの事故を防ぐために、以下のことをお守りください。

⚠警告	・火中への投入、加熱、分解をしない ・ショートさせない ・むき出しのまま、他の電池を混ぜて保管しない(保管するときや廃棄するときはビニルテープなどを貼って絶縁する)
⚠注意	・⊕⊖の表示通りに入れる ・指定以外の電池を入れない ・使い切った電池はすぐに取り出す ・しばらく使わないときは電池を取り外しておく

●万一液もれしたら、液をよく拭き取ってください。また、液が皮膚や衣類に付着した場合はすぐに大量の水で洗い流してください。
●万一、もれた液が目に入ったときは、失明の原因となるので、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、ただちに医師に相談してください。
●使用済みの電池を廃棄する場合、自治体の条例などで決まりがあるときにはそれに従って廃棄してください。

SDカード及びUSBメモリーについて

本機で使用できるSDカード及びUSBメモリー

本機ではUSBメモリーやSDカード内の音楽ファイル(**MP3形式**)を再生して楽しむことができます。SDカードは16GB(SDHC対応)まで、USBメモリーは16GBまでサポートしていますが、以下の制限がありますのでご注意ください。

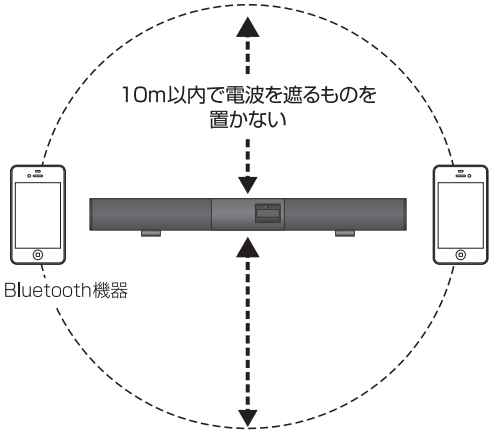
●対応ビットレート／ 32~320kbps　VBR対応
●DRM(著作権保護)付きファイルは再生できません。
●本機で再生できる容量は最大999フォルダー(最大8階層)／ 65535ファイルまでです。
●読み取り不可のメディアが装着された場合は「NO」と表示されるか、「00:00」から再生が進みません。

MP3ファイルの再生順について

●同一階層にあるファイルとフォルダーでは、ファイルが優先して再生されます。
●同一階層に複数のファイルやフォルダーがある場合は、メディアへの記録順に、古いほうから新しいほうへと再生されます。
●ひとつのフォルダーの再生が始まると、そのフォルダーの浅い階層から深い階層へと上記のルールで再生されます。
※ファイルシステムの仕様上の違いやメディアの状態によって、再生順が異なることがあります。
※メディア上のファイル名やフォルダー名を変更した場合、再生順が変わります。
※読み取り不可のファイルがあった場合は、再生が停止するか、そのファイルを飛ばして次のファイルへ移動します。
※フォルダーの階層構造やファイル形式の都合により、読み取れなかったり、フォルダー数や総曲数などが実際の数と違って表示されることがあります。

Bluetooth機器との接続可能範囲について

●本機とBluetooth機器(携帯電話、スマートフォン、Bluetooth対応ワイヤレス音楽プレーヤーなどの音源側の機器)との間で、電波を受信できる範囲は最大で約10mです(理論規格値であり、通信を保証するものではありません)。
●10m以内であっても、遮蔽物などがある場合や電波を発する他の機器がある場合は、正常に受信できないことがあります。再生音が乱れる場合はそれらの遮蔽物などを取り除いてください。
●本機を使うには、相手側のBluetooth機器が本機と同じプロファイルに対応している必要があります。ただし、同じプロファイルに対応していても、送信側の仕様により使えない機能がある場合があります。



Bluetooth機器使用に関する注意事項

●病院内など無線機器の使用を禁止された区域では、本機の電源を切ってください。また、無線機器の使用が制限された区域では、施設管理者などに確認のうえ使用してください。他の機器に悪影響を与えたり、事故の原因となります。
●本機を使用中に気分が悪くなった場合は、ただちに使用を中止してください。
●自動車やエレベーターなど自動制御機器に影響が出る場合は、ただちに使用を中止してください。
●本機は、市販のBluetooth対応のすべての機器との接続動作を保証したものではありません。

次ページに続く

Bluetooth機器使用に関する注意事項(つづき)

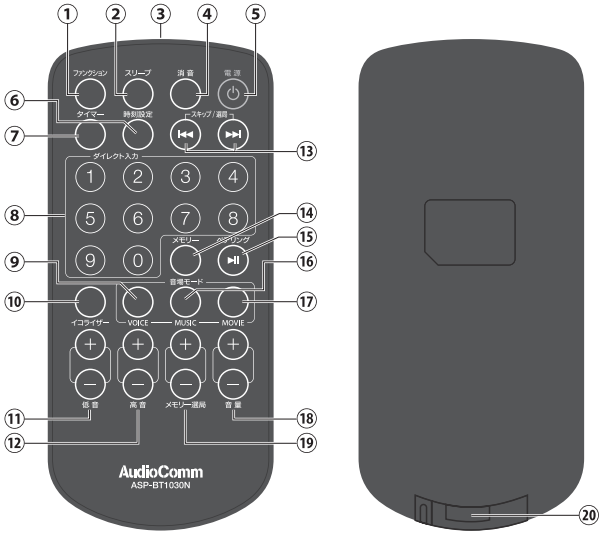
医療機器近くでの使用に関する際は、特に注意してください

●医療機器及び人命に直接的または間接的に関わるシステム、高い安全性や信頼性が求められる環境下では絶対に使用しないでください。
●植込み型心臓ペースメーカー、または植込み型除細動器を装着している場合は、装着部から本機を22cm以上離して携行及び使用してください。電波によりペースメーカー及び除細動器の動作に影響を及ぼすおそれがあります。
●混雑している場所では、周囲に植込み型心臓ペースメーカーまたは植込み型除細動器を使用している人がいる可能性がありますので、ご使用の際は十分にご注意ください。
●医療機関内では次のことを守ってください。
・手術室、集中治療室(ICU)、冠状動脈疾患監視病室(CCU)には持ち込まない。
・病棟内では本機を使わない。　・ロビーなどでも、周囲に医療機器がある場所では電源を切る。
・その他、医療機関による使用制限や使用禁止指示は必ず守る。
●植込み型心臓ペースメーカー、または植込み型除細動器を装着している方で、自宅などでの療養中の方は、本機をご使用になる前に、電波による影響について個別に医療機器メーカーなどにご確認ください。電波により医療機器の動作に影響を与えるおそれがあります。

Bluetoothの影響について

●本機が使用する周波数(2.4GHz帯)では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)、及び特定小電力無線局(免許を要しない無線局)が適用されています。
●本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運営されていないことを確認してください。
●万一、本機から上記の無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、使用場所を変更するか速やかに電源を切り、使用を中止してください。

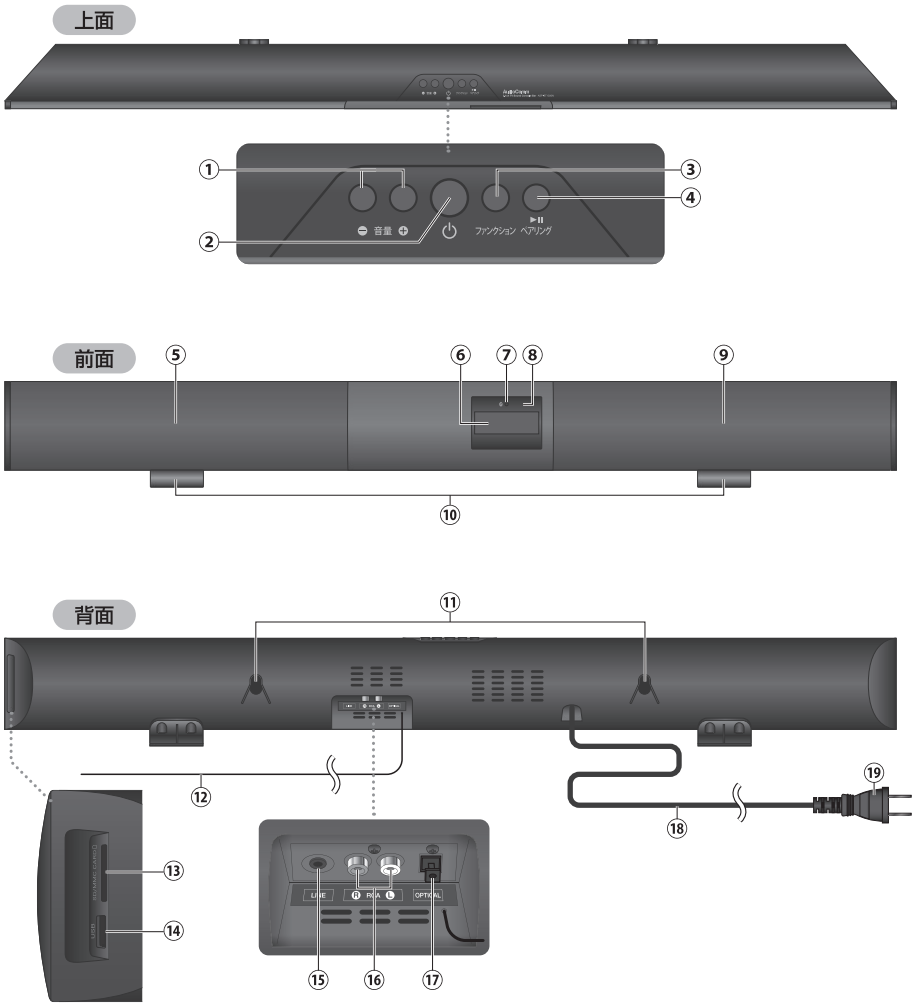
各部の名称(リモコン)



リモコン前面　　リモコン背面

①ファンクションボタン
②スリープボタン
③信号送信部
④消音ボタン
⑤電源ボタン
⑥時刻設定ボタン
⑦タイマーボタン
⑧ダイレクト入力ボタン(1～0)
⑨音場モードボタン(VOICE)
⑩イコライザーボタン
⑪低音ボタン(+／ー)
⑫高音ボタン(+／ー)
⑬スキップ／選局ボタン(⏮／⏭)
⑭メモリーボタン
⑮再生／ー時停止(ペアリング)ボタン
⑯音場モードボタン(MUSIC)
⑰音場モードボタン(MOVIE)
⑱音量ボタン(+／ー)
⑲メモリー選局ボタン(+／ー)
⑳電池トレー

各部の名称(本機)



①音量ボタン(+／ー)
②電源ボタン
③ファンクションボタン
④再生／ー時停止(ペアリング)ボタン
⑤左スピーカー
⑥ディスプレイ
⑦Bluetooth接続ランプ
⑧リモコン信号受信部
⑨右スピーカー
⑩据え置き用スタンド
⑪壁掛けフック穴
⑫FMワイヤーアンテナ
⑬SDカードスロット
⑭USB端子
⑮LINE端子(φ3.5mmステレオミニプラグ)
⑯RCA端子(赤／白)
⑰光デジタル端子
⑱電源コード
⑲電源プラグ

外部機器(音源機器)との接続方法

本機及び外部機器の電源が切れた状態で接続してください。

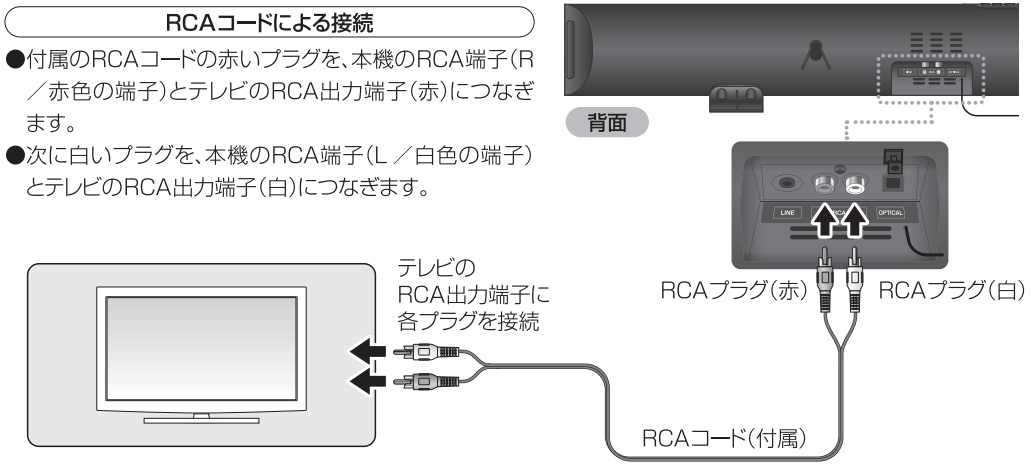
テレビとの接続

付属のRCAコード(赤／白)を使って接続する方法と、光デジタルケーブル(別売)を使って接続する方法があります。接続する機器の外部出力仕様に合わせてお選びください。

RCAコードによる接続

●付属のRCAコードの赤いプラグを、本機のRCA端子(R／赤色の端子)とテレビのRCA出力端子(赤)につなぎます。

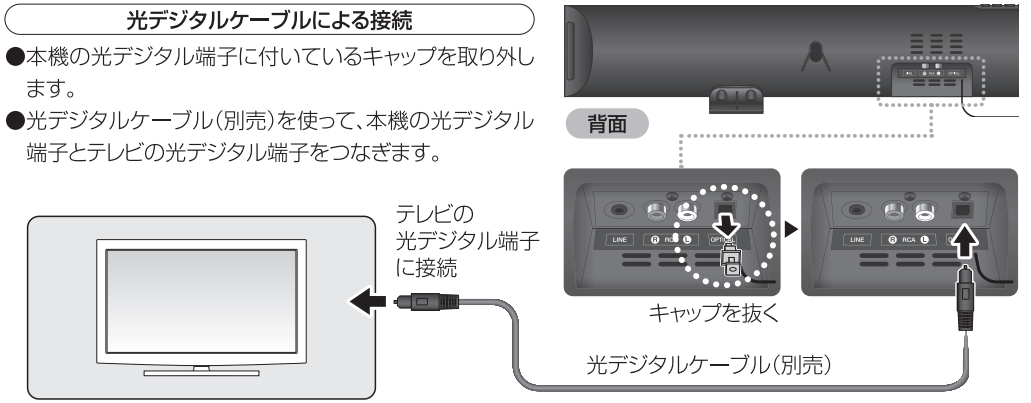
●次に白いプラグを、本機のRCA端子(L／白色の端子)とテレビのRCA出力端子(白)につなぎます。



光デジタルケーブルによる接続

●本機の光デジタル端子に付いているキャップを取り外します。

●光デジタルケーブル(別売)を使って、本機の光デジタル端子とテレビの光デジタル端子をつなぎます。



ご注意 光デジタルケーブルには光角型プラグと光ミニプラグ(丸型)があります。接続する端子に適合したプラグタイプをご使用ください。※本機の接続端子は光角型プラグ対応です。

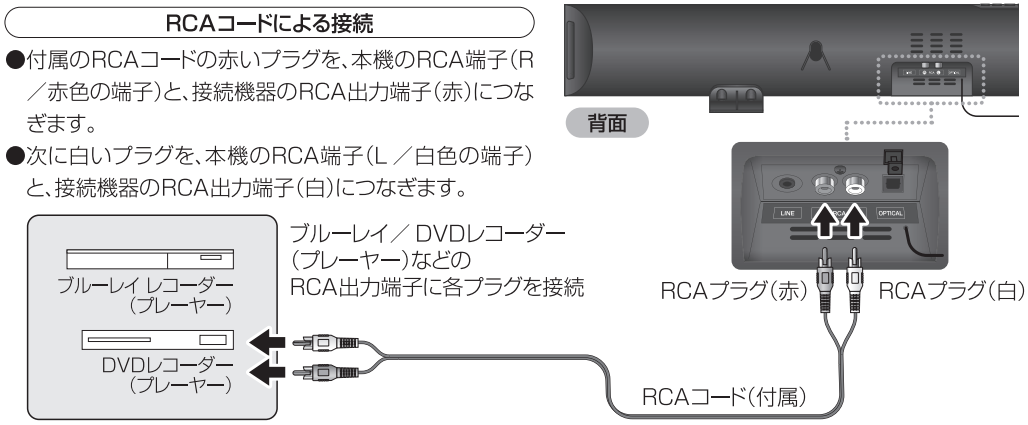
ブルーレイ／DVDレコーダー(プレーヤー)などとの接続

付属のRCAコード(赤／白)を使って接続する方法と、光デジタルケーブル(別売)を使って接続する方法があります。接続する機器の外部出力仕様に合わせてお選びください。

RCAコードによる接続

●付属のRCAコードの赤いプラグを、本機のRCA端子(R／赤色の端子)と、接続機器のRCA出力端子(赤)につなぎます。

●次に白いプラグを、本機のRCA端子(L／白色の端子)と、接続機器のRCA出力端子(白)につなぎます。



光デジタルケーブルによる接続

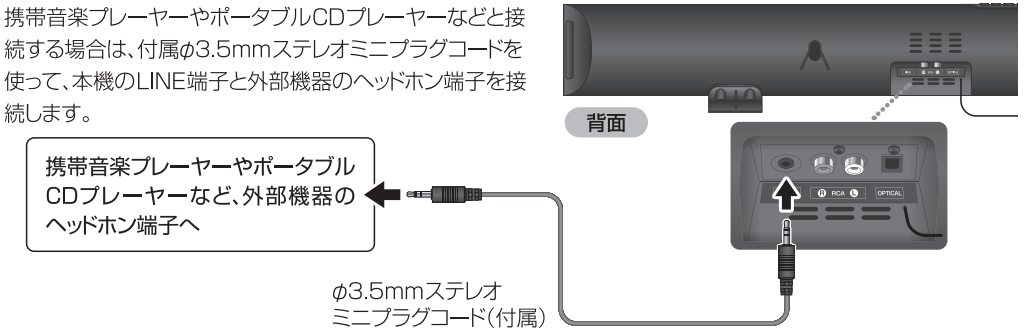
●本機の光デジタル端子に付いているキャップを取り外します。

●光デジタルケーブル(別売)を使って、本機の光デジタル端子と接続機器の光デジタル端子をつなぎます。

ご注意 光デジタルケーブルには光角型プラグと光ミニプラグ(丸型)があります。接続する端子に適合したプラグタイプをご使用ください。※本機の接続端子は光角型プラグ対応です。

φ3.5mmステレオミニプラグコードを使った接続(LINE端子)

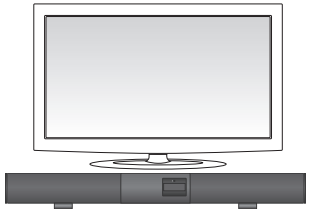
携帯音楽プレーヤーやポータブルCDプレーヤーなどと接続する場合は、付属φ3.5mmステレオミニプラグコードを使って、本機のLINE端子と外部機器のヘッドホン端子を接続します。



設置方法

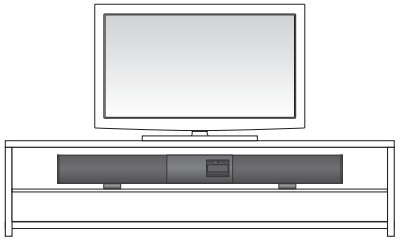
テレビの外部スピーカーとして使うときは

テレビの前に置くか、テレビ台の中に置いてお使いになることをおすすめします。



ご注意

テレビの前に置く場合、テレビの赤外線リモコン受光部がさえぎられる可能性があります。設置の際にご注意ください。



壁掛けスタイルで使うときは

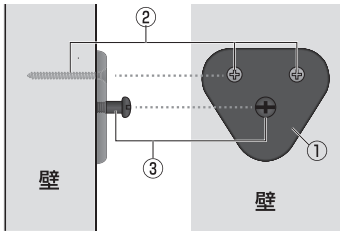
❶ 壁に壁掛け金具を取り付けます。

壁の厚さが十分にある場合は：

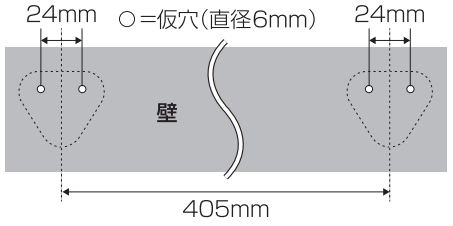
ドライバーなどを使って壁掛け金具(①)を壁掛け金具取付用ネジ釘(②)で固定し、さらに壁掛け用フックネジ(③)を取り付けます。

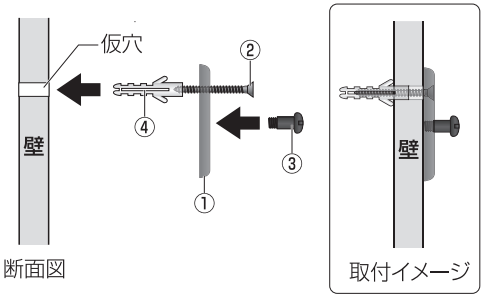
薄い壁やボード壁など、強度が弱い場合は：

- ●壁にドリルなどであらかじめ直径6mmの仮穴を開けます(壁掛け金具の間隔は芯間405mm)。
- ●壁掛け金具取付用ネジ釘(②)を壁掛け金具(①)に通し、さらにボード壁用釘止め補強ブラケット(④)に差し込んで仮穴の中に押し込みます。その後ドライバーで最後までしっかりと壁掛け金具を固定します。
- ●壁掛け用フックネジ(③)を取り付けます。



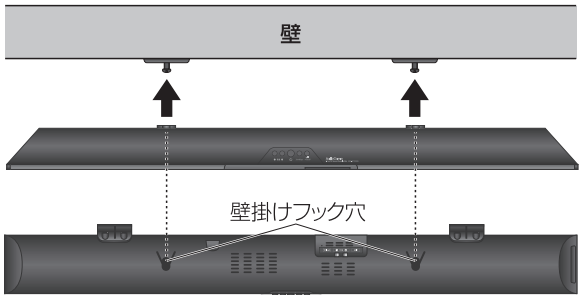
断面図　正面図





断面図　取付イメージ

❷ 本体背面の壁掛けフック穴を❶の壁掛け用フックネジに掛けます。



ご注意

本機の質量は約2.6kgです。壁の強度を十分にご確認の上ご使用ください。壁掛け使用による本機の脱落・破損、壁面を含む周囲の汚損、人的損傷は、保証の対象外となりますのでご了承ください。

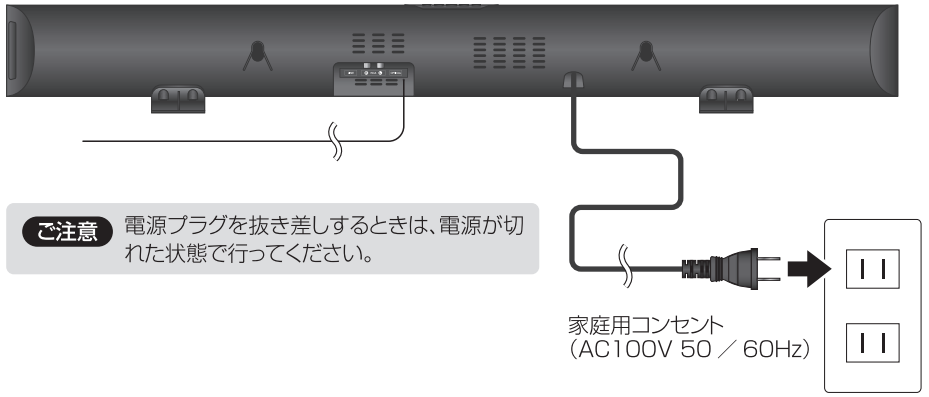
電源の接続

本機の電源プラグを家庭用コンセントに接続してください。

P.11を参照して時刻を設定してください。

電源の接続方法

背面



ご注意 電源プラグを抜き差しするときは、電源が切れた状態で行ってください。

リモコン用コイン型電池について

●お買い求め時：リモコン背面の電池トレーに差し込まれている絶縁シートを引き抜くと、そのまますぐにお使いいただけます。

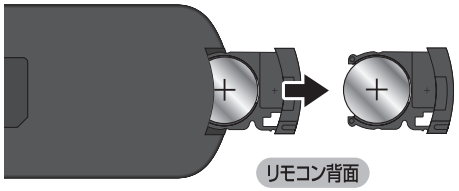
●交換するときは：

リモコンの操作距離が短くなったり、ボタンを押しても動作しなくなったときは、コイン型電池の消耗が考えられます。新しいものと交換してください。

❶ リモコン背面の電池トレーを引き出します。

❷ コイン型電池(CR2025)を+と書いてあるほうが上になるように、電池トレーに入れます。

❸ 電池トレーを元通りに奥までしっかり差し込みます。



電池を安全にお使いいただくために(リモコン用コイン型電池)

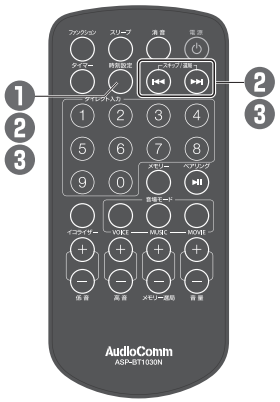
液もれ、発熱、破裂などの事故を防ぐために、以下のことをお守りください。

⚠ 警告	・火中への投入、加熱、分解をしない ・ショートさせない ・むき出しのまま、他の電池を混ぜて保管しない(保管するときや廃棄するときはビニルテープなどを貼って絶縁する)
⚠ 注意	・⊕⊖の表示通りに入れる ・指定以外の電池を入れない ・使い切った電池はすぐに取り出す ・しばらく使わないときは電池を取り外しておく

- ●万一液もれしたら、液をよく拭き取ってください。また、液が皮膚や衣類に付着した場合はすぐに大量の水で洗い流してください。
- ●万一、もれた液が目に入ったときは、失明の原因となるので、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、ただちに医師に相談してください。
- ●使用済みの電池を廃棄する場合、自治体の条例などで決まりがあるときにはそれに従って廃棄してください。

現在時刻の設定方法

リモコン



本機の電源が切れている状態で操作してください。

❶ 時刻設定ボタンを長押しします。
時表示が点滅します。

❷ スキップ／選局ボタン(⏮／⏭)を押して「時」を選び、時刻設定ボタンを押します。
- ●午後の場合はPMが表示されます。
- ●時刻設定ボタンを押すと、分表示が点滅します。

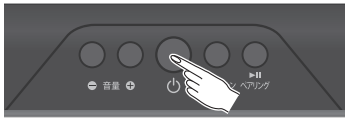
❸ スキップ／選局ボタン(⏮／⏭)を押して「分」を選び、時刻設定ボタンを押します。
点滅が止まり、時刻設定が確定します。

ご注意
- ●何も操作しない時間が約8秒間続くと、自動的に設定が確定し、点滅が止まります。修正する場合は最初からやり直してください。
- ●電源プラグを家庭用コンセントから抜いたときや停電時はリセットされます。再度設定し直してください。

本機の基本操作

本機でよく使う基本的な操作方法を説明します。十分ご理解のうえ、ご使用ください。

電源のオン／オフ



本機

電源オン

本機またはリモコンの電源ボタンを押すと、電源が入ります。
2回目以降に電源を入れたときは、前回最後に使用していたファンクションが立ち上がります。

電源オフ

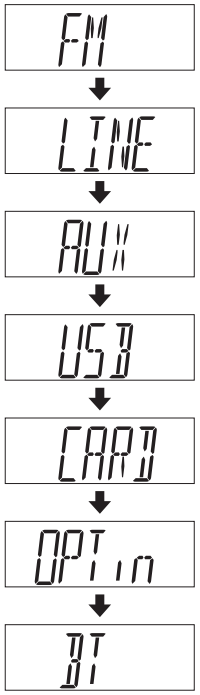
電源オン中に電源ボタンを押すと、電源が切れます。
スタンバイモード(現在時刻表示)になります。

ご注意
- ●外部機器との接続は、必ず電源を入れる前に行ってください。
- ●外部機器との接続を解除するときは、必ず電源を切ってから行ってください。

ファンクションの切換え

本機またはリモコンのファンクションボタンを押すたびに、ファンクションが切り換わります。

本機



FMラジオ。「FM」に続いて受信中の周波数が表示されます。

φ3.5mmステレオミニプラグでLINE端子に接続されている機器。

RCA端子(赤／白)に接続されている機器(テレビなど)。

USBメモリー。「－－－－」が点滅して読み込みが始まり、再生が自動的に始まります。未接続時は「NO」と表示されます。

SDカード。「－－－－」が点滅して読み込みが始まり、再生が自動的に始まります。未接続時は「NO」と表示されます。

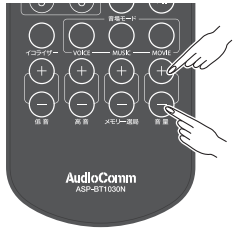
光デジタル端子に接続されている機器。

Bluetooth機器。Bluetooth接続ランプが点滅し、サーチモードになります。

音量・音質の調節

音量の調節

本機



本機またはリモコンの音量ボタン(＋／－)を押すと、音量の調節ができます。
00～40までの間で調節できます。

ご注意
- ●音量の上げすぎにご注意ください。
- ●音量調節は外部機器側と本機のどちらでも可能ですが、外部機器側の音量を小さくして、本機の設定を大きくしていた場合、別のファンクションに移行したときに思わぬ大音量になるおそれがあります。できるだけ本機の音量設定を一定に保つなど、十分にご注意ください。
- ●本機の使用を終了するときは、音量を適正に小さくしてから電源を切ってください。大きいままですと、次回電源を入れたとき、思わぬ大音量になるおそれがあります。

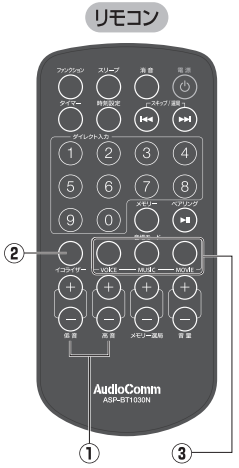
●消音
リモコンの消音ボタンを押すと、ディスプレイに「MUTE」が表示され、音声が消えます。もう一度押すと出力されます。

次ページに続く

本機の基本操作（つづき）

音質の調整

音質は以下の3つの方法で調節したり、選ぶことができます。設定／調整値は約2秒間表示されます。



①高音ボタン（＋／－）・低音ボタン（＋／－）

・高音ボタン（＋）を押すと高音が強調され、高音ボタン（－）を押すと高音が抑えられます。

・低音ボタン（＋）を押すと低音が強調され、低音ボタン（－）を押すと低音が抑えられます。

※どちらも+10～−10まで2ステップ間隔で増減します。

高音ボタン操作時

低音ボタン操作時

②イコライザーボタン

イコライザーボタンを押すたびに「CLASC（クラシック）」→「ROCK（ロック）」→「POP（ポップ）」→「JAZZ（ジャズ）」→「FLAT（フラット）」と音質が変化します。

イコライザーの表示例（クラシック）

③音場モードボタン（VOICE ／ MUSIC ／ MOVIE）

音源に応じて簡易的な音場モードを選べます。

VOICE…会話などが中心の音声に適しています。

MUSIC…音楽を聴くときに適しています。

MOVIE…映画を見るときに適しています。

VOICEモード

MUSICモード

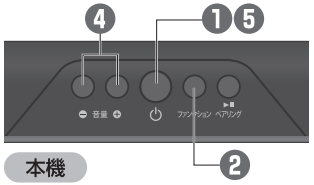
MOVIEモード

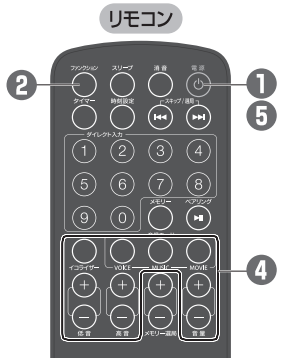
※①～③の併用はできません。

テレビの外部スピーカーとして使う

●P.7を参照して、本機とテレビ及び家庭用コンセントを正しく接続・設置してから操作してください。

●「本機の基本操作」（P.11～13）もあわせてご確認ください。





❶テレビ→本機の順番で電源を入れます。

テレビの電源を入れたときに、テレビ側の音量が大きすぎたり、小さすぎたりしないよう適正に調整し、その後本機の電源を入れてください。

❷本機またはリモコンのファンクションボタンを押して、接続方法に応じたファンクションを選びます。

接続方法を確認し、AUX（RCA端子）、OPTin（光デジタル端子）、またはLINE（φ3.5mmステレオミニプラグ）から正しく選んでください。

❸テレビ側で選局などの操作をします。

❹音量・音質を調節します。

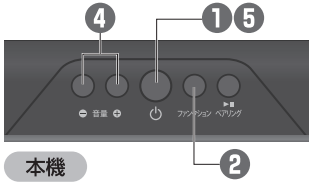
「音量・音質の調節」（P.12～13）をご参照ください。

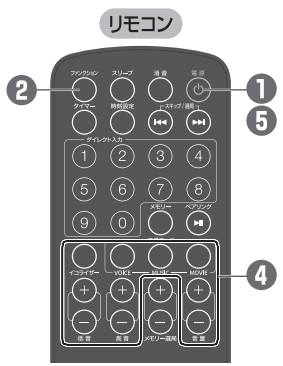
❺終了するときは本機→テレビの順で電源を切ります。

ブルーレイ／DVDレコーダー（プレーヤー）の外部スピーカーとして使う

●P.8を参照して、本機、ブルーレイ・DVDレコーダーなどの外部機器（音源機器）、テレビ及び家庭用コンセントを正しく接続・設置してから操作してください。テレビとレコーダー（プレーヤー）との接続方法は、各機器に付属する取扱説明書をご参照ください。

●「本機の基本操作」（P.11～13）もあわせてご確認ください。





❶テレビと外部機器（ブルーレイ／DVDレコーダーなど）の電源を入れ、その後、本機の電源を入れます。

●テレビ側の音量が大きすぎたり、小さすぎたりしないよう適正に調整し、その後本機の電源を入れてください。

●テレビや外部機器に付属の取扱説明書なども参照し、テレビの入力切換などを正しく行ってください。

❷本機またはリモコンのファンクションボタンを押して、接続方法に応じたファンクションを選びます。

接続方法を確認し、AUX（RCA端子）、OPTin（光デジタル端子）、またはLINE（φ3.5mmステレオミニプラグ）から正しく選んでください。

❸外部機器側（ブルーレイ／DVDレコーダーなど）で再生などの操作をします。

❹音量・音質を調節します。

「音量・音質の調節」（P.12～13）をご参照ください。

❺終了するときは本機の電源を切り、その後、外部機器側の電源を切ります。

Bluetoothで音楽を楽しむ

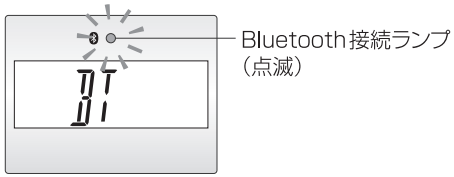
本機では、離れた場所にあるBluetooth対応機器（タブレット端末や携帯電話、スマートフォン、Bluetooth対応音楽プレーヤーなど：以下、相手側機器と言います）の音楽をワイヤレスで聴くことができます。
Bluetoothを使うには、はじめにペアリング（本機を相手側機器に登録すること）を行う必要があります。

ペアリングのしかた

❶ ペアリングしたい相手側機器を本機と1m以内の場所に置き、Bluetooth機能を有効にします。
下記はBluetoothを設定するためのスマートフォンのメニュー例です。お使いのBluetooth機器またはソフトウェアのバージョンによって表示が異なります。詳しい操作方法はご使用の機種に付属する取扱説明書をご確認ください。

iPhone	設定
Android	設定
Windows mobile	設定
NTT docomo	LifeKit
SoftBank	設定
au	Bluetooth

❷ 本機の電源を入れた後、ファンクションボタンを押して、BT（Bluetooth）を選びます。
Bluetooth接続ランプが点滅し、相手側機器を探している状態になります（サーチモード）。

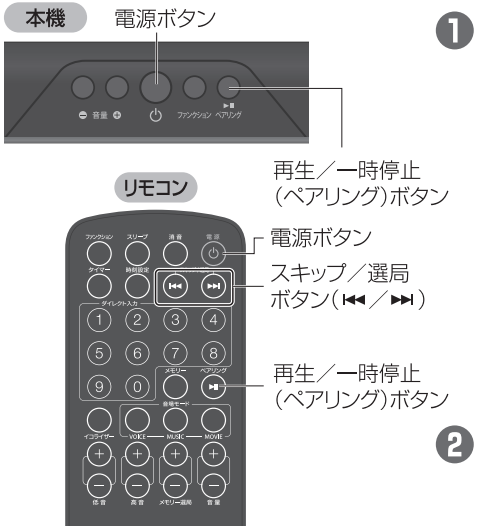


❸ 相手側機器で、ペアリング操作を行ってください。
- 本機名**「ASP-BT1030N」**が相手側機器で表示されたら、それを選択して登録します。正しく接続されるとBluetooth接続ランプの点滅が点灯に変わります。
- 機種によっては、パスキーやPINコードの入力を求められる場合があります。その場合はいずれも**「0000」**と入力してください（詳細はBluetooth機器に付属する取扱説明書をご参照ください）。
- プロファイルの選択が必要な場合は、A2DP、AVRCPを選んでください。
- 本機は、2回目以降に電源を入れてBT（Bluetooth）を選んだとき、前回最後に使用していた相手側機器に自動接続します。

ご注意
- 正常にペアリングが完了しない場合、サーチモード（Bluetooth接続ランプが点滅している状態）は約90秒後に自動終了します（ディスプレイに「NO BT」と表示されます）。
- **相手側機器が他の機器とBluetooth通信を行っているときは**／本機とのペアリング操作ができないことがあります。その際は、他機との通信を中止したうえでペアリングを行ってください。
- **一度ペアリングし登録あるにもかかわらず、本機と相手側機器が自動接続されないときは**／
  - 再生／一時停止（ペアリング）ボタンを長押ししてください（Bluetooth接続ランプが点滅し、サーチモードになります）。その後上記ステップ❸に進み、接続してください。
  - Bluetooth機能を使用中（音楽再生時など）に、再生／一時停止（ペアリング）ボタンを長押しすると、接続が解除されますのでご注意ください。
  - Bluetooth機器付属の取扱説明書も参照しながら必要に応じて接続操作を行ってください。

再生するときは

●「本機の基本操作」（P.11～13）もあわせてご確認ください。



❶ Bluetooth機器側で再生などの操作をしてください。また、本機でも以下の操作が可能です。

ボタン	機　能
再生／一時停止（ペアリング）ボタン	再生⇆一時停止
スキップ／選局ボタン（⏭）	次の曲へスキップ
スキップ／選局ボタン（⏮）	曲の最初に戻る。 2回続けて押すと 一つ前の曲へスキップ

音量・音質については「音量・音質の調節」（P.12～13）をご参照ください。

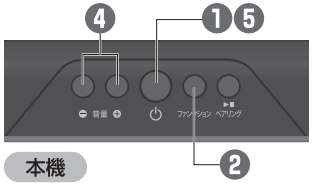
❷ 終了するときは電源ボタンを押します。
必要に応じて、Bluetooth機器側の電源も切ってください。

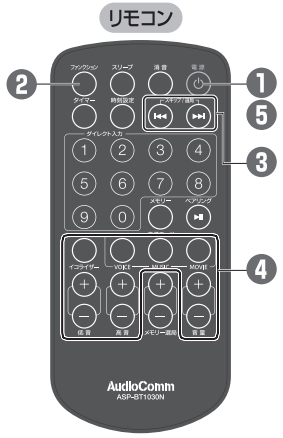
ご注意
- Bluetooth再生時は、早送りや早戻しはできません。
- **他のファンクションが選ばれているときは**／ファンクションボタンを数回押して「BT」（Bluetooth）に合わせたうえで操作してください。
- **使用中にBluetooth接続ランプが点滅しているときは**／接続中の相手側機器が接続可能範囲外に出たり、途中で相手側機器のBluetooth機能が無効になったことが考えられます。
  - 相手側機器との距離を確認する
  - ファンクションボタンを押して他のファンクションに移行し、さらに数回押してもう一度「BT」に合わせる
  - 相手側機器で本機の登録をいったん削除し、再度ペアリングする

  などを行ってみてください。
- **相手側機器で登録を削除したときや、使用中に正常に動作しなくなったときは**／正しくペアリングをし直してください。

FMラジオを聴く

●「本機の基本操作」(P.11～13)もあわせてご確認ください。





※ 本機はAMラジオの受信はできません。

1 本機またはリモコンの電源ボタンを押して電源を入れます。

2 本機またはリモコンのファンクションボタンを押して、FMを選びます。
FM表示に続いて周波数が表示されます。

3 スキップ／選局ボタン(⏮／⏭)を押して、お聴きになりたい放送局に周波数を合わせます。
スキップ／選局ボタン(⏮／⏭)を長押しすると、周波数が自動で送られ、最初に受信できた放送局で止まります。

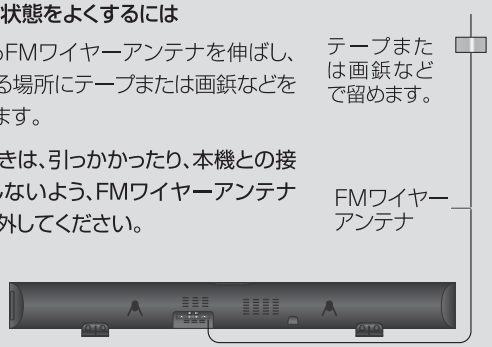
4 音量・音質を調節します。
「音量・音質の調節」(P.12～13)をご参照ください。

5 終了するときは、本機またはリモコンの電源ボタンを押して電源を切ります。

ヒント 受信状態をよくするには

本機背面にあるFMワイヤーアンテナを伸ばし、最も良く聴こえる場所にテープまたは画鋲などを使って軽く留めます。

※移動させるときは、引っかかったり、本機との接合部が破損しないよう、FMワイヤーアンテナを壁などから外してください。



ヒント ダイレクト入力について

●ダイレクト入力ボタンを使って、お聴きになりたい放送局の周波数を直接指定することができます。

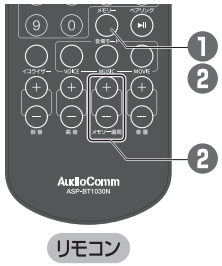
●例えば81.3MHzの場合は、ディスプレイの表示を見ながら「8」→「1」→「3」と入力すると、約3秒後にその放送局を受信します。

※ボタン操作が3秒間途切れると入力操作がキャンセルされます。

※無効な数値が入力された場合もキャンセルされ、元の受信状態に戻ります。

メモリー登録

よく聴く放送局は、メモリー登録をすることで簡単に呼び出すことができます。最大10局まで登録できます。



1 登録したい放送局を受信しているときに、リモコンのメモリーボタンを押します。
ディスプレイに「P01」(メモリー番号)が点滅します。

2 メモリー選局ボタン(＋／－)を押して登録したいメモリー番号を選び、メモリーボタンを押します。
※一度登録したメモリー番号は、上記の操作で別の放送局に上書きすることができます(削除はできません)。

メモリー登録した放送局を呼び出すには

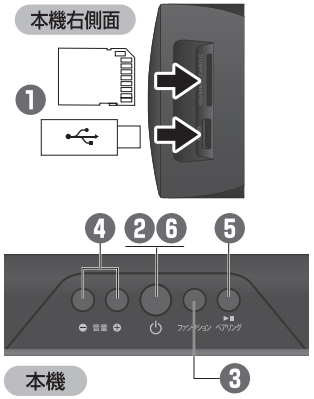
メモリー選局ボタン(＋／－)を押してメモリー番号を選んでください。
メモリー番号を約2秒間表示後、周波数表示になります。

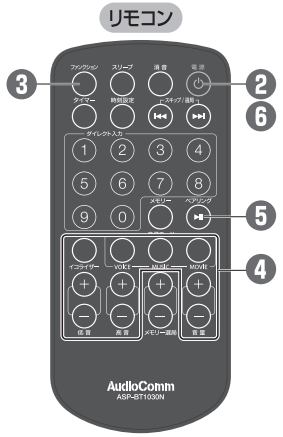
SDカードやUSBメモリーの音楽を再生する

●メディア(SDカードやUSBメモリー)の着脱は、本機の電源が切れているとき、または他のファンクションを選択中に行ってください。該当ファンクションを選択中に着脱を行うと、データを破損するおそれがあります。

※ここでは電源オフ状態からの使い方を説明します。

●「本機の基本操作」(P.11～13)もあわせてご確認ください。





1 電源が切れた状態で、SDカードまたはUSBメモリーを装着します。

2 本機またはリモコンの電源ボタンを押して電源を入れます。

3 本機またはリモコンのファンクションボタンを押して、CARD(SDカード)またはUSBを選びます。
「－－－－」が点滅して読み込みが始まり、総曲数が一時的に表示された後、自動的に再生が始まります。未接続時や読み取り不可のメディアが装着された場合は、「NO」と表示されます。

再生中は再生マークと経過時間が表示されます。

4 音量・音質を調節します。
「音量・音質の調節」(P.12～13)をご参照ください。

5 再生中に再生／一時停止(ペアリング)ボタンを押すと、再生を一時停止します。
一時停止中は ⏸ が表示され、もう一度押すと再開します(再開時は再生中の曲番号を表示した後、経過時間表示になります)。

※本機には停止ボタンはありません。一時停止と停止は同義となります。

6 終了するときは、本機またはリモコンの電源ボタンを押して電源を切ります。
電源を切った後、または他のファンクションに移行した後に、メディアを取り外します。

次ページに続く 18

SDカードやUSBメモリーの音楽を再生する（つづき）

ヒント　ダイレクト入力について

●ダイレクト入力ボタンを使って、お聴きになりたい曲番号を直接指定することができます。
●例えば3番目の曲を再生したい場合は、ディスプレイの表示を見ながら「3」と入力すると、約3秒後にその曲の再生が始まります。
※2桁以上の曲番号を指定する場合は、3秒以内の間隔で操作してください。それ以上間隔が空くと、それまでに入力した数値で確定します。
※無効な数値が入力された場合はキャンセルされます。

ヒント　曲のスキップとフォルダー選択について

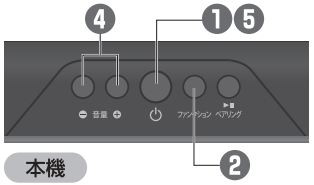
●再生中または一時停止中にスキップ／選局ボタン（⏮／⏭）を押すと、1つ前の曲（次の曲）に移って再生が始まります。

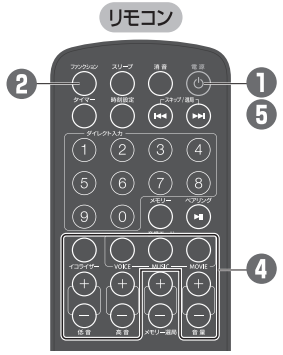
●再生中または一時停止中にメモリー選局ボタン（＋／－）を押すと、前後のフォルダーに移動して、フォルダー内の1曲目から再生が始まります。

フォルダー番号は「F」＋通し番号で表示されます。

LINE端子を使って外部機器のスピーカーとして使うときは

ポータブルCDプレーヤーやMDプレーヤーなど、φ3.5mmステレオミニプラグでの音声出力に対応した機器の場合は、本機のLINE端子に接続することで音楽などを楽しむことができます。
●P.8を参照して、本機と外部機器、家庭用コンセントを正しく接続してから操作してください。
●「本機の基本操作」（P.11～13）もあわせてご確認ください。





1 外部機器→本機の順で電源を入れます。
外部電源の電源を入れたときに、外部機器側の音量が大きすぎたり、小さすぎたりしないよう適正に調整し、その後本機の電源を入れてください。

2 本機またはリモコンのファンクションボタンを押して、LINEを選びます。

3 外部機器側で再生などの操作をします。

4 音量・音質を調節します。
「音量・音質の調節」（P.12～13）をご参照ください。

5 終了するときは本機→外部機器の順で電源を切ります。
本機及び外部機器の電源を切った後に接続を解除してください。

スリープ

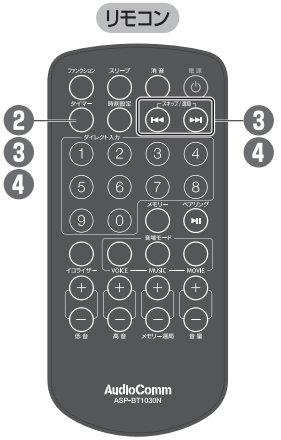
本機の電源がオンのときに操作してください。

●リモコンのスリープボタンを押すと「90」とスリープマークが表示されます。
さらにスリープボタンを数回押して、自動電源オフまでの時間を選んでください（90分～10分までは10分間隔→5分→3分→0分）。任意の時間を表示中にそのまましばらくするとスリープ設定が確定し、元の画面に戻ります。

●スリープ設定が有効なときは、スリープマークが表示されます。
●スリープ設定が有効なときにスリープボタンを押すと、電源オフまでの残り時間が約5秒間表示されます。
●スリープ設定を解除するには、電源を切るか、スリープボタンを数回押して「00」に設定してください。

タイマー

本機ではFMラジオを音源として、タイマー（アラーム）設定ができます。



1 P.17～18を参照してタイマー起動時の放送局を受信したあと、電源を切ります。

2 タイマーボタンを長押しします。
タイマーマークと時表示が点滅します。

3 スキップ／選局ボタン（⏮／⏭）を押して起動時刻の「時」を選び、タイマーボタンを押します。
タイマーボタンを押すと、分表示が点滅します。

4 スキップ／選局ボタン（⏮／⏭）を押して起動時刻の「分」を選び、タイマーボタンを押します。
点滅が止まり、設定が確定します。

ご注意　●何も操作しない時間が約8秒間続くと、設定操作がキャンセルされます。必要に応じて最初からやり直してください。

ヒント　設定時刻になると電源が入り、設定したFMラジオを受信します。
●このとき音量が徐々に大きくなっていきます。音を消すには、電源ボタンを押して電源を切ってください。
●上記で電源を切った状態の場合、タイマーマークが表示され、翌日の同時刻に再びタイマーが起動します。起動させたくないときはタイマーボタンを押してタイマーマークを消してください。
●同じ時刻でタイマーを設定したいときは、タイマーボタンを押してください。ボタンを押すたびにタイマーマークの表示（設定オン）／非表示（設定オフ）が切り換わります。

お手入れのしかた

本機及びリモコンの汚れは、柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは、布をぬるま湯か薄めた中性洗剤で湿らせ軽く拭いた後、から拭きしてください。
シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので、絶対に使用しないでください。

シンナー、ベンジン、
アルコールなどは使用しない

故障かなと思ったら

症　状	確　認　事　項
電源が入らない	●電源プラグが家庭用コンセントにしっかりと接続されていますか。 ●(リモコン操作時)リモコンの電池は正しく装着されていますか。 ●(リモコン操作時)リモコンの電池が消耗していませんか。 ●(リモコン操作時)本体との距離が離れすぎたり、遮蔽物があったり、斜めの位置から操作していませんか。
音が出ない	●電源が入っていますか。 ●ファンクションが正しく選ばれていますか。 ●音量が最小または消音になっていませんか。 ●(テレビ接続時)テレビと本機は正しく接続されていますか。プラグがゆるんだりしていませんか。 ●(光デジタルケーブル接続時)光デジタルケーブルが小さく丸められていたり、急角度で曲げられたりしていませんか(できるだけ真っすぐにしてください)。 ●(Bluetooth接続時)ペアリングは正しく行いましたか。 ●(Bluetooth接続時)Bluetooth機器の設定は正しくなされていますか。 ●(Bluetooth接続時)Bluetooth機器とのペアリングまたは接続が解除されていませんか。 ●(その他の外部機器接続時)外部機器と本機は正しく接続されていますか。プラグがゆるんだりしていませんか。
Bluetooth接続時に音が途切れる	●本機とBluetooth機器が10m以上離れていませんか。 ●本機とBluetooth機器の間に遮蔽物がありませんか。 ●周囲で無線LAN機器や電子レンジなどの電波を発する機器、Bluetooth対応のマウスやキーボードを使用していませんか。 ●周囲に無線機を使う施設や放送局がありませんか。
ラジオ時に雑音が入る	●近くで携帯電話を使用していませんか(本機から携帯電話を離してご使用ください)。
SDカードやUSBメモリーの音楽が再生されない	●メディアに合わせて、ファンクションが正しく選ばれていますか。 ●メディアがUSB端子やSDカードスロットに正しく装着されていますか。 ●規格外のメディアを使用していませんか。 ●メディア内のファイル形式は本機の仕様に適合していますか。 ●メディア内のデータが破損していませんか。 ●音量が最小または消音になっていませんか。

※Bluetooth接続時に不具合が起きた場合、本機以外に相手側機器側に原因があることも考えられます。Bluetooth機器を単独で使用したときに同様の症状が出るかどうかもご確認ください。

主な仕様

電源	AC100V(50/60Hz)　リモコン：DC3V　CR2025×1個(テスト用電池装着済み)		
定格消費電力	50W	アンプ最大出力	10W×2 + 30W(合計50W)
スピーカー	スピーカー：口径70mm(4Ω)×2　内蔵サブウーファー：口径70mm(16Ω)×2		
メディア入力	USB端子×1、SDカードスロット×1		
音声入力	RCA端子(赤・白)×1、LINE端子(φ3.5mmステレオミニプラグ端子)×1、光デジタル入力端子(光角型)×1		
FMラジオ	76.0～108.0MHz(ワイヤーアンテナ)		
外形寸法	幅941.8mm×高さ110.5mm×奥行60.5mm(突起物含まず)		
質量	約2.6kg		
付属品	専用リモコン(テスト用電池装着済み)、RCAコード(赤・白プラグ)、φ3.5mmステレオミニプラグコード、据え置き用スタンド(装着済み)、壁掛けキット、取扱説明書(保証書付)		

Bluetooth

適合規格	Bluetooth Ver. 2.1 +EDR		
伝送方式	FHSS	周波数範囲	2.400GHz～2.480GHz
通信距離	最大約10m(理論値：使用環境により異なります)		
送信出力	Class2	対応プロファイル	A2DP、AVRCP ／ SCMS-T対応
対応機種	●Bluetoothに対応したタブレット端末、携帯電話、スマートフォン、パソコン、デジタルオーディオなど ●市販のBluetooth対応アダプターを接続してBluetooth機能を有したパソコン、デジタルオーディオなど　※本機はすべてのBluetooth機器に対する動作保証をするものではありません。		

SDカード／USBメモリー

対応メディア	SDカード：16GBまで(SDHC対応)　USBメモリー：16GBまで
対応フォーマット	MP3(ビットレート：32～320kbps)　VBR対応※DRM付きファイルの再生はできません。
フォルダー・ファイル	999フォルダー(最大8階層)／65535ファイル

※Bluetooth及びBluetoothロゴは米国Bluetooth SIG,Inc.の商標で、オーム電機はライセンスに基づき使用しています。その他、本書に記載されている商品名、システム名、社名などは、一般に各社の商標または登録商標です。
※仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。
※本製品は、特定無線設備として日本国電波法第38条の24第1項の規定に基づく認証を受けております。

保証書とアフターサービスについて

保証書について

この製品には保証書がついておりますので、お買い上げの販売店よりお受け取りください。お受け取りになった保証書は、記載内容及び「販売店、お買い上げ年月日」などの記入事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

●調子が悪いときは
修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

●保証期間中は
保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間が過ぎた場合は
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。